

議会改革を推進

市民に開かれた議会を

新年のご挨拶



西村芳成議長

平成二十三年の年頭に当たり、市議会を代表し謹んで新年のごあいさつを申し上げます。

市民の皆様方には、ご健勝で明るく輝かしい新春をお迎えになられたことと、心からお慶び申し上げます。

本市もこの三月一日で、合併をしてから五年が経過しますが、合併当時に三万人を減少していた人口も年々減り、昨年十二月には

二万八千五十人になりました。こうした過疎化や少子高齢化は本県のような中山間地域の自治体に象徴されるように、著しく進展しています。本市は、合併と少子高齢化・過疎化の時代が重なった訳であります。一方で財政的には町村合併による国からの地方交付税等は増加となり、健全な財政運営を保つていきます。

国政では民主党政権が、国民に約束した政策を財源問題で地方に一部の負担を強いるなど地方自治体は厳しい状況にあります。こうした政治の動きや時代の流れにあっても当然、議会としては、市民の生命と財産・生

活を守るために、本市の健全な財政運営に努めてまいります。議会としての議決権限・監視やチェック機能を十分に発揮するため、議会独自の行財政改革推進特別委員会の機能の充実を目指すと共に、自主財源の確保、定住人口や過疎対策、農林業、商工業、伝統産業、地場産業の振興、高知工科大学との連携による企業誘致や就労の確保、教育や福祉・医療の充実等々の山積みする課題や文化・歴史を守る市政に、市民と協力・協働・共調し信頼と心のふれあいを大切に、各地域で特色ある地域づくりができるように努めます。

昨年、議会の改選後、

新たに議会改革推進特別委員会を設置し、議員定数の削減を含み市民に開かれた議会として、情報公開もきめ細やかに行うと共に、議会報告会の実施等々の協議を進めております。議会は、本市の発展と市民福祉の充実に公

正で公平な民主的な市政運営に努めてまいりますので、市民の皆様方のご協力をお願い申し上げます。
この一年が市民にとって最良の年でありますことをご祈念し年頭のごあいさつとします。



土佐山田町を展望